

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談
2. 日時：令和5年7月6日（木）16：00～18：55
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：
 - 原子力規制庁
 - 長官官房
 - 技術基盤課グループ
 - 技術基盤課 佐々木企画調整官、今瀬原子力規制専門職、酒井原子力規制専門職、山田専門職
 - システム安全研究部門 北條主任技術研究調査官、椛島統括技術研究調査官、皆川副主任技術研究調査官、渡辺技術研究調査官、船田技術参与
 - 総務課 村上企画調査官
 - 原子力規制部
 - 原子力規制企画課 黒川企画課長、斎藤課長補佐、望月専門職、田代係長、金坂係員

原子力エネルギー協議会 理事 他9名
 北海道電力株式会社 原子力事業統括部 原子力設備グループ 副主幹
 東京電力HD株式会社 原子力部運営管理部 保守管理グループ 副長 他5名
 中部電力株式会社 原子力本部 原子力部 運営グループ 課長
 関西電力株式会社 原子力事業本部 保安全管理グループ チーフマネージャー
 他6名
 三菱電機株式会社 原子力システム製作所 原子力部 放射線計装設計課 課長
 他4名
 一般財団法人 電力中央研究所 原子力リスク研究センター 首席研究員

5. 要旨：

<蓄電池劣化管理に係る対応状況>

- ATENA より、事業者の蓄電池劣化管理に関する調査に関し、6月1日の面談以降に調査した内容について資料1により説明を受けた。
- 原子力規制庁より、本件は、今後、技術情報検討会に報告する予定であるので、説明を充実して再度提出するよう依頼した。
- ATENA より、対応する旨発言があった。

<電気ペネトレーションの電線接続部の耐久性>

- ATENA より、電気ペネトレーションの電線接続部の耐久性に関する調査に関し、6月

15日の面談以降に追加で実施した文献調査等の内容を資料2及び資料3により説明を受けた。

<火災時安全停止回路解析に係る LER 情報分析結果>

- 令和4年11月18日の面談において、ATENAは、火災時安全停止回路解析に関する短期対応として LER の分析を行い、必要に応じて対応を検討するとしていた。
- ATENA より、LER の分析結果について資料4により説明を受けた。

<原子力規制委員会と ATENA 経営層との意見交換>

- 令和5年度第10回原子力規制委員会（令和5年5月17日）において、事業者の自律的対応に対する ATENA の関与についてのトップマネジメントの姿勢や考え方について、原子力規制委員会と ATENA との意見交換会を開催することとなった。
- ATENA より、同意見交換会の資料のドラフトとして、資料6及び7を受領し、説明を受けた。なお、本資料は、さらに改定する予定とのこと。

6. 配布資料：

資料1 蓄電池劣化管理に係る対応状況について

資料2 電気ペネトレーションの電線接続部の耐久性に関する ATENA への質問への回答について

資料3 はんだ関連文献リスト

資料4 火災時安全停止回路解析に係る検討のうち LER 情報分析結果について

資料5 安全性向上に向けた ATENA の取り組みについて

資料6 デジタル安全保護系のソフトウェア共通要因故障対策への取り組みについて

資料7 継続的な安全性向上に関する枠組みの検討について

以上